



Y.MASATO  
NAOMI MINAMI  
KAITO TAKEUCHI  
YUKI TAKAGI

2013. 2.14

## 100 THINGS IN MY POCKET

● What do you have in your pocket?

## Live from England

● from KAITO TAKEUCHI

## TOKIO GIRL

● staring NAOMI MINAMI

and more...

TYD





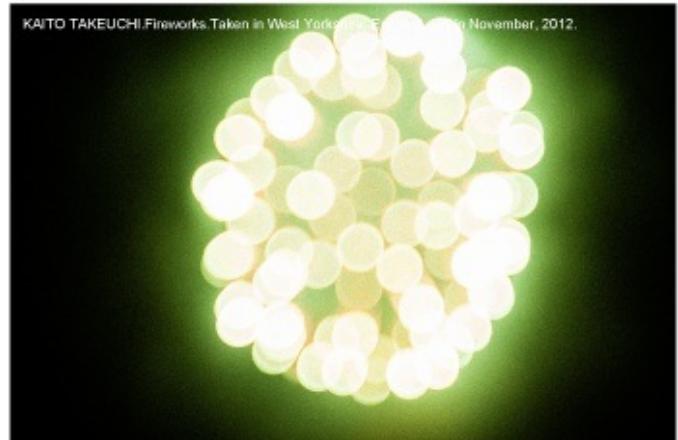
KAITO TAKEUCHI. Motion Taken in during hiking in Italy, England in October, 2012.



KAITO TAKEUCHI. チャー・シェー .Taken in West Yorkshire in the end of December 2012.



KAITO TAKEUCHI. Fireworks.Taken in West Yorkshire, England in November, 2012.



KAITO TAKEUCHI. Grass and light. Taken in West Yorkshire in the end of December 2012.

撮ること、撮らないこと

現在 West Yorkshire 周辺で勉強しています。以前はずーっとミュージシャンばかり撮ってました。ミュージシャンを撮り続けることで、写真を撮ることよりも、写真を撮らないことについて、多くのことを学んだような気がします。

様々なアーティストを撮影していく、僕が目にするのは彼らが製作やパフォーマンスに勤しんでいる風景でした。それらはとても情熱的で、思慮深く、感性に富んだものでした。ミュージシャンたちは30分程度のステージのために、長い歳月をもって自らのステージを組み上げていきます。

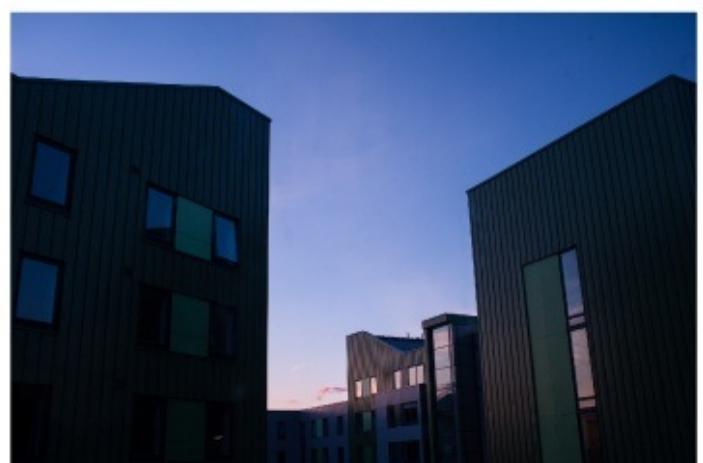
カメラマンはどうか。撮影時間自体は長い（セッティング・現像等含め）ようですが、基本的に一枚取るのに必要な時間は160分の1秒です。本当に一瞬しかありません。なので、時間の流れというものは、実際に身体を動かすミュージシャンとは別にあるように思います。

しかしながら、ミュージシャンと時間を共に過ごすことで、ステージには立てないけれども、その流れの中に自分をとりあえず置いてみることはできます。するとミュージシャンのステージ上の一挙手一投足が、日々の生活の中にも見えるように思いました。あの居酒屋で飲んだこと、みんなでライブを見に行ったこと、公園や駅前で語り合ったこと。これらは次第に、僕らが共に大人になるように、変わっていきます。日々の営みの中にそれらは宿るようです。

「カメラは、射手が弓をいるように、カメラマンの手に宿る」とはよく言ったものです。カメラマンがふつと人や風景にカメラを向ける行為は、身体的共鳴以上に、カメラマンがいつも話すような、いつも向けるまなざしのようなもの思えるのです。写真を撮ることよりも、むしろ撮らないことによって、その写真は形作られるのではないかかなあと思います。

今外では子どもたちが子犬とソリ遊びをしています。カメラがあればなあと思う反面、カメラが無くてもいいかなあとも思います。

2013年10月20日、図書館より、雪峰丘を見ながら。



●確かにキミは暖かい。でも触れてしまえばこの身は灰となり塵となる。このキミの氷は誰にも溶かせない。その身を守る分厚い氷を内側から碎いてこそ、物語は再び始まるのです。どうかあの日のような生暖かい温度をいつまでも保ち続けて欲しい。その生暖かさを目指してワタシは旅に出るのだから。

撰氏三十六の柔らかな愛情は、皆が描く「幸せ」の中心に必ずある。人類が進歩する度に棄てては涙を流して拾つていくよ。いつかワタシの涙が枯渇する頃、そから、その時は素直に受け取つて欲しい。それが世界に調和できなかつた目なのだから。ワタシとキミの唯一の役目なのだから。

「キミ」と「ワタシ」。

今はまだ別の個体。  
Y.MASATO/「奇抜なクローゼット」より抜粋

●思えば長い間一人だつた。孤独だけがいつも私を抱き締めた。結局何が手に入つたのだろうか。考えたくはない。只々、後ろを振り返るのが怖いだけなのだ。

優しく愛してくれる人の顔に唾を吐き、願いは日々祈るのみで陽が暮れる。やがて愛は支配に変わり、気がついた時には世界は幕を下ろしていった。またさよならも云えず、愛する者にも愛されず、漆黒に染められた感情を慣れたら素振りで身に纏う。覚えているか。共に求めた真理が何たるかを。憎んでいるか。いつも幕が下りてかかる両の手を重ねる愚かな私を。ならば貫け。鋸びたナイフでこの心臓を貫いてくれ。

私の血などで君の手は汚れることはない。私は赤い血など流れではない。

Y.MASATO/「Humanoid Orchestra」より抜粋

●人は一度生まれたならば、死に向ふ。歩き続ける。その過程は、我々はそのままに生きる。最後の一連の動作は、黄連の時間。私が限りある歩みに拘らざりて、かくつてく人に實感させているのだ。また我が歩みは止まつてゐないことを。

Y.MASATO/「タバコ」/100 thi

●人間の歯によつて無残にも噛み千切られ、ゴロンと横たわる姿は完食されることを諦める。がかかるように思える。總てを言葉で表すなど不可能だ。彼に重ねていても、「人生」が重なつてゐる。まず小麦として生まれた彼は太陽の光と簡略して言わせてもらひう。また水と交じる。進化した猿に搾取され、粉微塵とともに成長した。恵みの雨を浴び青年へと生まう。また暗室で灼熱の炎に抱かれて5ユーロの値段をつけられた。私はこのよくなつてもない「美」を創造する。これはできるのだろうかと焦燥に駆られながら毎日を過ごしていく。

Y.MASATO/「親愛なる血族へ」より抜粋

●貴女の左薬指に巻きつくる。それは貴女が誰かの愛を受け止めた証。そんなチープなものでも、今の私を絶望させるには充分だ。何故か、貴女は此處に来て、故くされたのだろう。何故か、私は貴女の前で自ら下がつて、道化師になり下がつて、貴女の役目ならば全うべきなのだろう。

少なくとも私は実に愚かだ。それだけは理解できた。「さようなら」と私は小さく呟いた。もう再び会うことはないだろう。せめて今夜だけはこの役目を全うしよう。この街には大好きな貴女が住んでいい。やはり私はこの街が大嫌いだ。  
Y.MASATO/「指輪」/100 things in pocket

●この世には、まるで「ウイルス」のように愚かな賞賛が厭な臭いと共に、隅々まで蔓延している。それは大抵の者は為す術なく生きてゆくことになる。私は出逢いを求めている。その「ウイルス」に抗い、自我を保つごく少数の者との出逢いを。降りしきる雨の中、傘も差さずに駆ける私を群集は嘲笑している。そんな彼らを私も嘲笑している。一日の終わるに皆がそれぞれ口にする。「今日も私は正常だ。」と。

Y.MASATO/「ウイルス」/100 things in my pocket



世界をさあ爆発させよう

NAOMI MINAMI/「檸檬」/100 things in my pocket

NAOMI MINAMI/「秘密」/100 things in my pocket

Photograph by YUKI TAKAGI



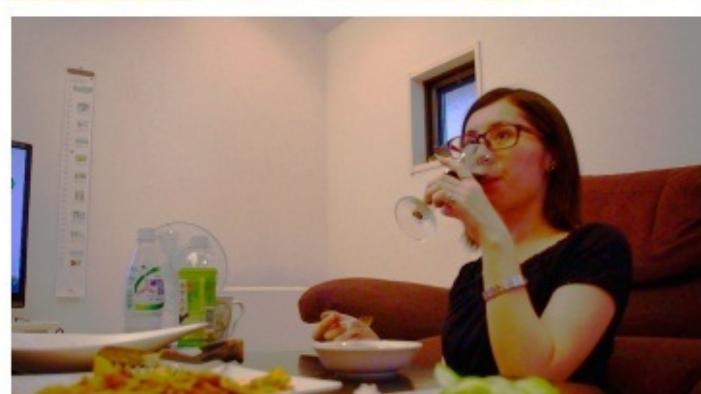
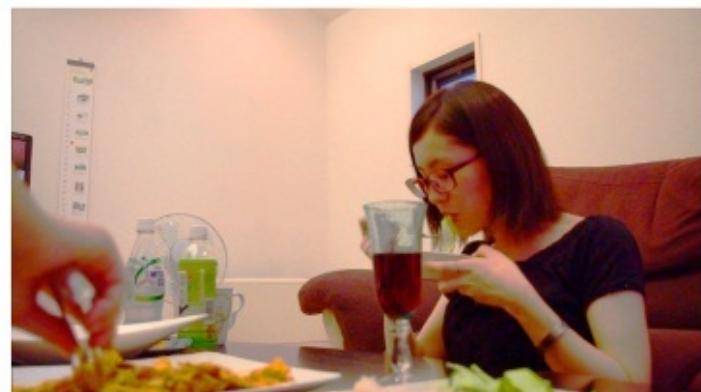
見てしまった  
知ってしまった



「ねえねえ」  
「なに」  
「今の所持金いくら？」  
「は、なにいきなり」  
「いくら？」  
「えー…さんまんごせんろっぴやくにえん」  
「うわっ、お金持ちだ」  
「帰りに定期券買うんだよ、なんだよ」  
「いや、今持ってる全財産でどこまで行けるかって。  
楽しそうじゃない？そういうの」  
「ああ成程ね。確かに楽しそう、  
延々と鈍行列車に乗るの」  
「明け方の日本海とか見てみたいなあ」  
「冬だから寒いぞ」  
「いいよ別に、どこに行ったって日本は寒いもん」  
「ならやってみる？」  
「え？」  
「有り金使ってどこまで行けるか」  
「ポケットの中の？」  
「そう」  
「うん。私今 832 円しか無いけど、  
行ける所まで行ってみよう」  
「…行くんじゃなくて連れて行く、  
って感じだな」  
「まあ細かいことは気にしないで」



NAOMI MINAMI/「YEN」/100 things in my pocket  
Photograph by YUKI TAKAGI



YUKI TAKAGI/「アルコール」/100 things in my pocket  
selected shots from a short movie "TOKIO GIRL"  
MODEL: NAOMI MINAMI

YUKI TAKAGI/「手」/100 things in my pocket





# PROTOTYPE vol.1

2013. Feb.14

※Everything we want to express in any forms.



Kaito Tkaeuchi

[www.flichr.com/photos/19890729/](http://www.flichr.com/photos/19890729/)

Naomi Minami

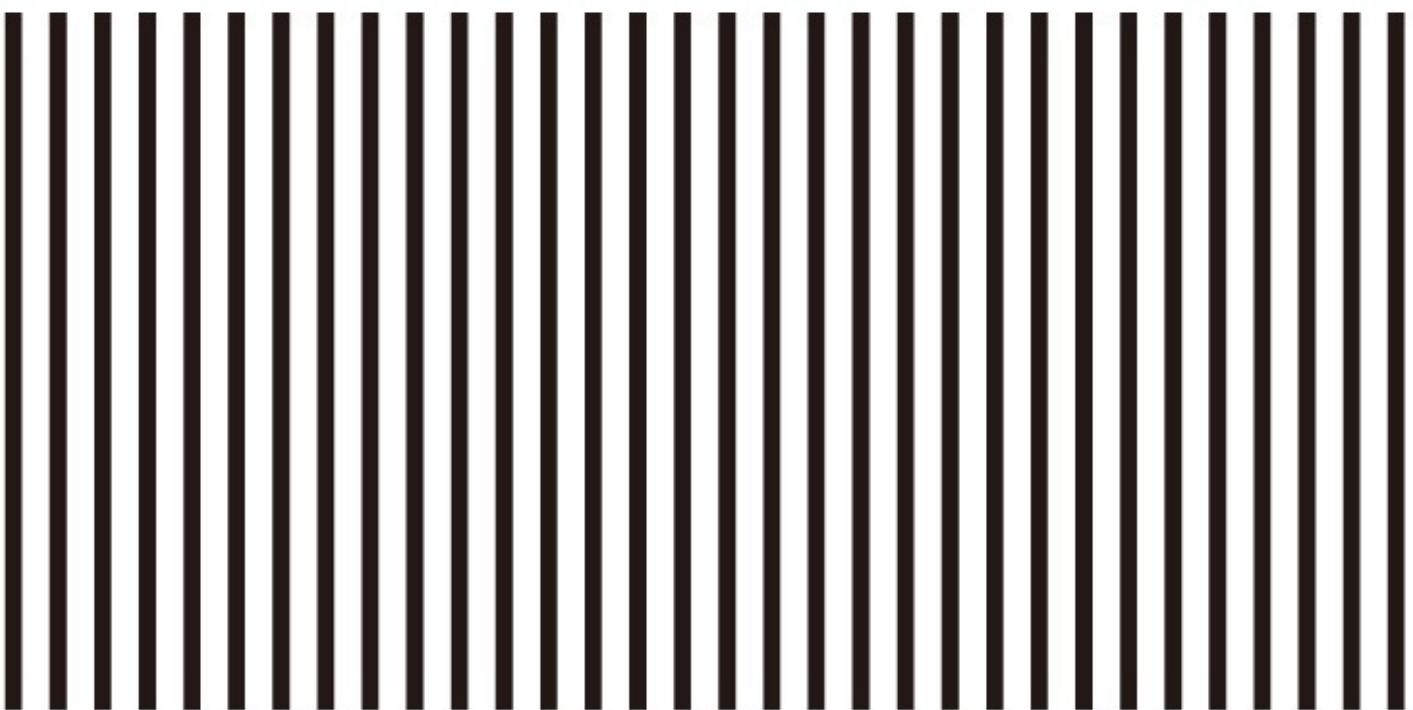
twitter: [@omi\\_tree](https://twitter.com/omi_tree)

Y.Masato

[masato.yamamori.18@facebook.com](mailto:masato.yamamori.18@facebook.com)

Yuki Takagi

<http://yukism253.blog134.fc2.com/>



In case you have any question about PROTOTYPE  
please contact Yuki Takagi on twitter(@LuckyRatio) or facebook(yuki.takagi.5264).



## PROTOTYPE vol.1

Everything we want to express in any forms.

<http://p.booklog.jp/book/65467>

KAITO TAKEUCHI: <http://www.flickr.com/photos/19890729/>

NAOMI MINAMI: twitter @omi\_tree

Y.MASATO:masato.yamamori.18@facebook.com

YUKI TAKAGI: <http://yukism253.blog134.fc2.com/>

Find out more

<http://p.booklog.jp/users/yukitakagi99/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/65467>

ブクログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/65467>

電子書籍プラットフォーム：ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブクログ